



---

# 第45期 中間報告書

---

平成18年4月1日～平成18年9月30日

---



株式会社 **エフピコ**

# 株主の皆様へ

平成18年12月

広島県福山市曙町一丁目12番15号

**株式会社 エフピコ**

代表取締役社長 小松 安弘

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第45期上半期の営業の概況と中間決算の状況につきましてご報告申し上げます。

## 営業の概況

当中間連結会計年度におけるわが国の経済は、堅調な企業収益を背景に積極的な設備投資や雇用環境の改善がみられるなど、全体としては回復基調で推移いたしました。しかしながら原油価格や金利の上昇などが企業収益の圧迫要因となり、事業環境の先行きとして不透明感が残りました。

当業界におきましては、昨年来の世界的な原油・ナフサ価格の高騰により、当社製品原料であるポリスチレン・ポリプロピレン樹脂等の原料価格が相次ぎ値上がりしております。

このような状況下、当社グループは生産技術の向上及び素材の薄肉化・製品の軽量化による生産コスト削減、新製品化や生産拠点の最適化・需給バランスの改善などによる物流コスト削減ならびに営業・製造・物流・管理と全ての部門の生産性の向上を実行してまいりました。

営業面におきましては、「エフピコフェア」に代わる商品提案会「2006年 秋 エフピコ・ミニフェア」を北海道から九州まで全国6地域で開催し、新製品はもとより、秋から年末にかけてすぐにも実践できる“売り場”のご提案を集中的に、よりスピーディーに提供させて頂きました。

その結果、製品売上高につきましては、463億4百万円（前年同期比2.5%増）となりました。中食市場の拡大にともない、新デザイン容器

---

も順調に推移しており、さらに、「SA-400シリーズ」をはじめとした新機能容器も依然として販売量を拡大し、FLSにFKS、FSSを加えたロースタックトレーの拡販も続いております。

一方、商品売上高は、利益改善のため、各種包装資材の奨励品の絞り込みと不採算取引の見直しをした結果、164億76百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

生産面におきましては、品質の向上とともに、さらなる生産性の向上に取り組んでまいりました。加えて、需要の拡大に対応した生産能力の増強と生産供給拠点の最適化を図ってまいりました。

物流面におきましては、サプライチェーンマネジメント（SCM）システムを有効に機能させ、需要に即した供給体制の構築に努め、在庫の適正化、横持ち・保管にかかわるコストの低減を進めてまいりました。

その他、環境面におきましては、循環型リサイクル「エフピコ方式（トレーtoトレー）」をさらに推し進め、エコトレーの販売を拡大していく一方、容器の軽量化・ロースタック化を図ってまいりました。

また、平成22年を達成年とした「環境経営5ヵ年計画」の初年度運用がスタートし、エネルギー及び資源や廃棄物の削減などについては、基準年の計画どおり進捗しております。

9月には、「環境・社会活動レポート2006」をステークホルダーの皆様に配布させていただきました。

このほか、トレーの回収率向上に向け、使用済みトレーの有償回収を始めました。

企業の社会貢献面として、特例子会社「株式会社ダックス佐賀」を設立いたしました。当社グループは社会福祉など社会とのつながりを重視した活動に取り組んでおります。障害者の社会参加を進め、安定的に働ける企業の設立に協力してまいりました。今回の設立で3社目となります。

以上のとおり取り組んでまいりました結果、当中間の連結会計期間の売上高は、627億80百万円（前年同期比1.8%減）、経常利益43億43百万円（同34.5%増）、中間純利益22億29百万円（同29.2%増）となりました。

分 類	主 要 品 目	売 上 高	構 成 比	前 期 比
製 品	ト レ ー 容 器	14,223 百万円	22.7 %	100.4 %
	弁 当 容 器	31,323	49.9	103.6
	そ の 他 製 品	757	1.2	95.6
	小 計	46,304	73.8	102.5
商 品	包 装 資 材	10,763	17.1	83.9
	そ の 他 商 品	5,712	9.1	96.4
	小 計	16,476	26.2	87.9
合 計		62,780	100.0	98.2

通期の見通しにつきましては、景気全体としては、企業収益は好調に推移し、安定的に成長を続けるものと予想されますが、原油価格の動向など懸念材料があり、依然として予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社製品の原材料価格につきましては、さらなる値上げが予想されますが、新製品化ならびに営業・製造・物流・管理と全ての部門の生産性向上を順調に実行し、製品価格への転嫁等により、競争力のある安定した利益を確保しうる強固な企業体質の形成を目指してまいります。

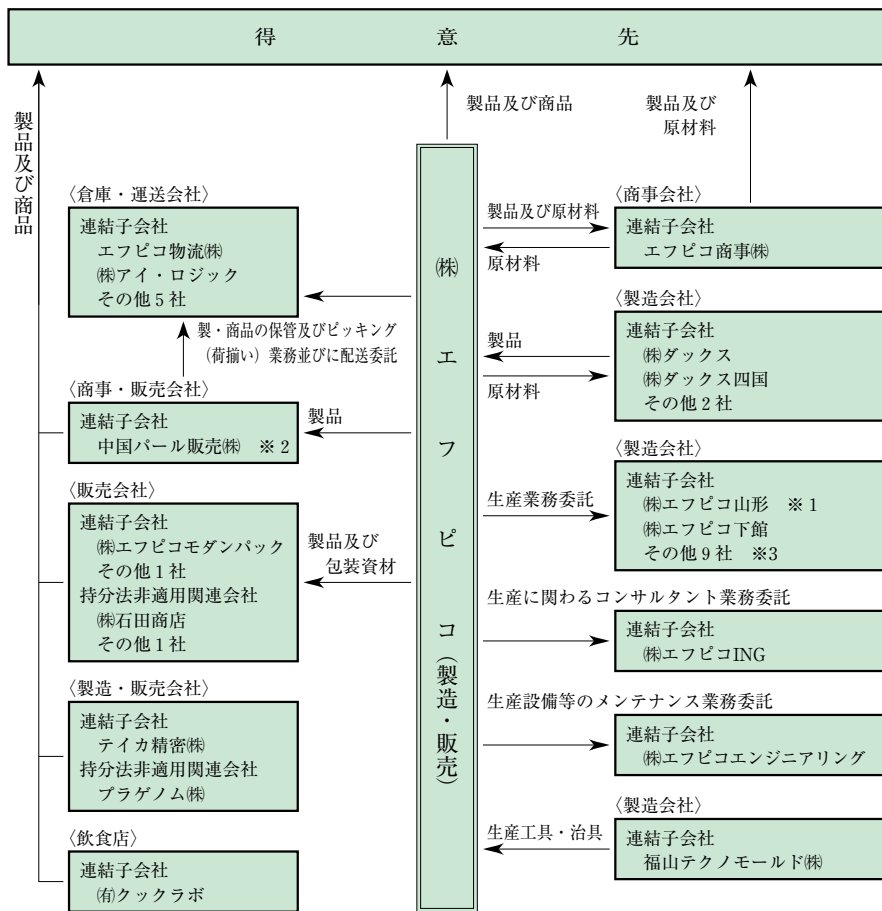
以上の状況から、通期の連結業績につきましては、連結売上高1,270億円、連結経常利益85億円、連結当期純利益44億80百万円を見込んでおります。

株主のみなさまには、何卒、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 企業集団の状況 (平成18年 9月30日現在)

当社グループは、当社、子会社31社及び関連会社3社により構成されており、「簡易食品容器関連事業」を主たる事業としており、トレー容器・弁当容器等の製造販売を中心として、その販売に付随する包装資材及び包装機械等の販売も併せて行っております。

事業の系統図は、次のとおりであります。



- (注) ※1 (株)エフピコ山形は、平成18年7月1日より、パックドール(株)から商号変更しております。  
 ※2 中国パール販売(株)は、平成18年10月1日より、エフピコチューパ(株)に商号変更しております。  
 ※3 (株)ダックス佐賀は、平成18年8月28日に設立された会社であります。

# 中間連結貸借対照表 (平成18年 9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>56,120</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>49,148</b>
現金及び預金	5,305	支払手形及び買掛金	21,501
受取手形及び売掛金	33,858	短期借入金	19,839
たな卸資産	12,871	未払金	3,330
その他	4,235	未払法人税等	1,829
貸倒引当金	△150	賞与引当金	847
		その他	1,800
<b>固 定 資 産</b>	<b>59,814</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>17,617</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>48,482</b>	長期借入金	14,593
建物及び構築物	21,765	退職給付引当金	1,162
機械装置及び運搬具	3,223	役員退職慰労引当金	641
土地	20,350	その他	1,219
その他	3,143	<b>負 債 合 計</b>	<b>66,766</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>1,487</b>	<b>(純資産の部)</b>	
<b>投資その他の資産</b>	<b>9,844</b>	<b>株 主 資 本</b>	<b>48,320</b>
投資有価証券	3,907	資本金	13,150
その他	6,329	資本剰余金	15,487
貸倒引当金	△393	利益剰余金	20,684
		自己株式	△1,001
<b>資 産 合 計</b>	<b>115,935</b>	<b>評価・換算差額等</b>	<b>804</b>
		<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>43</b>
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>49,168</b>
		<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>115,935</b>

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間連結損益計算書 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売上高		62,780
売上原価		45,929
売上総利益		16,851
販売費及び一般管理費		12,767
営業利益		4,084
営業外収益		
受取利息	65	
受取配当金	38	
仕入割引	36	
受取賃貸料	48	
受入手数料	41	
その他	199	428
営業外費用		
支払利息	140	
その他	29	169
経常利益		4,343
特別利益		80
特別損失		621
税金等調整前中間純利益		3,801
法人税、住民税及び事業税	1,797	
法人税等調整額	△ 228	1,568
少数株主利益		4
中間純利益		2,229

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間連結株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
平成18年3月31日 残高	13,150	15,487	19,041	△ 311	47,368	1,016	1,016	53	48,438
<b>中間連結会計期間中の変動額</b>									
剰余金の配当(注)			△ 527		△ 527				△ 527
役員賞与(注)			△ 58		△ 58				△ 58
中間純利益			2,229		2,229				2,229
自己株式の取得				△ 689	△ 689				△ 689
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 212	△ 212	△ 10	△ 222
<b>中間連結会計期間中の変動額合計</b>	—	—	1,642	△ 689	952	△ 212	△ 212	△ 10	730
平成18年9月30日 残高	13,150	15,487	20,684	△ 1,001	48,320	804	804	43	49,168

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

# 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		投資有価証券の取得による支出	△ 72
税金等調整前中間純利益	3,801	投資有価証券の売却による収入	21
減価償却費	1,962	短期貸付金の純減少額	343
賞与引当金の増加額	64	長期貸付金の貸付けによる支出	△ 528
貸倒引当金の減少額	△ 49	長期貸付金の回収による収入	750
役員退職慰労引当金の増加額	347	その他の	1
受取利息及び受取配当金	△ 103	<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 3,476</b>
支払利息	140		
売上債権の増加額	△ 5,467	<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
たな卸資産の増加額	△ 610	短期借入金の純減少額	△ 300
未収入金の減少額	142	長期借入れによる収入	8,500
仕入債務の増加額	2,844	長期借入金の返済による支出	△ 7,748
その他の流動資産・負債の増減額	265	自己株式の取得による支出	△ 689
未払消費税等の減少額	△ 363	配当金の支払額	△ 528
その他	△ 25	更生債務の弁済による支出	△ 71
<b>小 計</b>	<b>2,949</b>	その他の	△ 13
利息及び配当金の受取額	103	<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 851</b>
利息の支払額	△ 134		
法人税等の支払額	△ 1,706	現金及び現金同等物に係る換算差額	0
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,212</b>	現金及び現金同等物の減少額	△ 3,116
		現金及び現金同等物の期首残高	8,421
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		現金及び現金同等物の中間期末残高	<b>5,305</b>
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 3,991		

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 中間貸借対照表（単体）

（平成18年9月30日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>（資産の部）</b>		<b>（負債の部）</b>	
<b>流動資産</b>	<b>49,712</b>	<b>流動負債</b>	<b>40,812</b>
現金及び預金	4,406	支払手形	679
受取手形	12,457	買掛金	18,986
売掛金	17,151	短期借入金	14,302
たな卸資産	10,686	未払金	3,684
その他	5,084	未払法人税等	1,677
貸倒引当金	△73	賞与引当金	347
<b>固定資産</b>	<b>53,036</b>	役員賞与引当金	25
<b>有形固定資産</b>	<b>39,669</b>	設備関係支払手形	430
建物	16,597	その他	678
機械及び装置	2,787	<b>固定負債</b>	<b>15,304</b>
土地	17,381	長期借入金	13,666
その他	2,901	退職給付引当金	910
<b>無形固定資産</b>	<b>1,443</b>	役員退職慰労引当金	615
<b>投資その他の資産</b>	<b>11,923</b>	その他	112
投資有価証券	3,745	<b>負債合計</b>	<b>56,117</b>
関係会社株式	1,101	<b>（純資産の部）</b>	
長期貸付金	5,353	<b>株主資本</b>	<b>45,831</b>
その他	1,785	資本金	13,150
貸倒引当金	△62	資本剰余金	15,487
<b>資産合計</b>	<b>102,748</b>	資本準備金	15,487
		その他資本剰余金	0
		利益剰余金	18,194
		利益準備金	667
		その他利益剰余金	17,527
		固定資産圧縮積立金	2
		別途積立金	15,200
		繰越利益剰余金	2,324
		自己株式	△1,001
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>800</b>
		その他有価証券評価差額金	800
		<b>純資産合計</b>	<b>46,631</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>102,748</b>

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間損益計算書 (単体) (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目		金 額	
売 上 高			59,394
売 上 原 価			44,035
売 上 総 利 益			15,359
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			11,680
営 業 利 益			3,678
営 業 外 収 益 及 び 配 当 金 他		229	
受 取 利 息 の 用 意 他		244	474
営 業 外 費 用 意 他		124	
支 払 の 意 他		27	152
経 常 利 益			4,000
特 別 利 益			76
特 別 損 失			570
税 引 前 中 間 純 利 益			3,506
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		1,643	
法 人 税 等 調 整 額		△ 239	1,403
中 間 純 利 益			2,102

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本								評価・換算差額等		純資産 合計			
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計		
	資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計						
平成18年3月31日 残高	13,150	15,487	0	15,487	667	2	13,200	2,800	16,670	△ 311	44,997	1,008	1,008	46,006
中間会計期間中の変動額														
固定資産圧縮積立金の取崩し(注)						△ 0	0	—	—	—	—			—
別途積立金(注)							2,000	△ 2,000	—	—	—			—
剰余金の配当(注)								△ 527	△ 527		△ 527			△ 527
役員賞与(注)								△ 50	△ 50		△ 50			△ 50
中間純利益								2,102	2,102		2,102			2,102
自己株式の取得										△ 689	△ 689			△ 689
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)												△ 208	△ 208	△ 208
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	△ 0	2,000	△ 475	1,524	△ 689	834	△ 208	△ 208	625
平成18年9月30日 残高	13,150	15,487	0	15,487	667	2	15,200	2,324	18,194	△ 1,001	45,831	800	800	46,631

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

# 会社の概要 (平成18年9月30日現在)

- (1)社名 **株式会社エフピコ**  
**FP CORPORATION**
- (2)設立年月日 昭和37年7月24日
- (3)資本金 13,150,625,630円  
発行済株式総数 22,142,106株
- (4)企業集団の主な事業内容 簡易食品容器関連事業及び商事関連事業
- (5)企業集団の主な事業所・工場

- 本社 広島県福山市曙町一丁目12番15号
- 東京本社 東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
- 大阪支店 大阪府豊中市新千里西町一丁目1番8号
- 営業所 札幌、仙台、新潟、静岡、名古屋、北陸(石川県)、広島、高松、福岡
- 工場 東北(宮城県)、山形、関東(茨城県)、関東つくば(茨城県)、関東下館(茨城県)、中部(岐阜県)、近畿亀岡(京都府)、笠岡(岡山県)、福山(広島県)、神辺(広島県)、九州(佐賀県)
- 配送センター 北海道、東北(山形県)、東日本ハブセンター(茨城県)、東京(千葉県)、中部(岐阜県)、関西(兵庫県)、福山(広島県)、九州(佐賀県)



## 役員 (平成18年9月30日現在)

代表取締役社長	小佐藤	松藤	安守	弘正	取取	縮縮	役役	金小	子林	敏智	誠朗
代表取締役専任	下藤	田部	正太	輝一郎	取取	縮縮	役役	高小	西高	正高	朗樹
常務取締役	眞上	弘内	一太	郎勉	取取	縮縮	役役	高小	橋西	忠高	樹伸
常務取締役	瀧上	崎内	俊詳	男治	取取	縮縮	役役	桑高	田崎	幸高	典夫
常務取締役	池上	内上	泰和	功彦	取取	縮縮	役役	早高	岡崎	幸高	健治
常務取締役	土利	川田		之	取取	縮縮	役役	藤高	井井	幸高	朗朗
常務取締役	安	田			取取	縮縮	役役	藤高	井井	幸高	朗朗

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	1. 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 2. 利益配当金受領株主 3月31日 3. 中間配当金受領株主 9月30日 4. その他必要あるとき あらかじめ公告して 定めた日

単元株式数 100株

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
(連絡先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
単元未満株式の買増制度	1単元(100株)に満たない株式を所有されている株主さまで、買増しをご希望される株主さまは、三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部へ、また証券保管振替機構をご利用の株主さまは、お取引口座のある証券会社へお申出ください。
公告掲載	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="http://www.fpco.co.jp/">http://www.fpco.co.jp/</a> ) なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 株式会社大阪証券取引所

### お知らせ

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取等、株式手続に関する必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の通話料無料(東京)0120-244-479 (大阪)0120-684-479で24時間承っておりますので、ご利用ください。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので株主名簿管理人に指定書用紙をご請求ください。



株式会社エフピコ

〒721-8607 広島県福山市曙町一丁目12番15号  
TEL 084-953-1145